

IV. 研究成果の刊行に関する一覧表

1. 論文発表

- 1) 小林毅、藤谷順子、前原康宏、藤原清香、芳賀信彦: 日本のサリドマイド胎芽症者の現状－主観的な「痛み」とその対処方法の実態調査－. 総合リハ 51(9): 1005-1010, 2023
- 2) Nishizaka C, Fujiwara S, Mano H, Haga N: Difference between affected and unaffected sides of forearm bone length in children with congenital terminal transverse deficiencies at the level of carpal bone. J Pediatr Orthop B 33(1): 76-82, 2024

2. 学会発表

- 1) Akiyo Tanabe. Metabolic disorders in thalidomide embryopathy. ENDO2023, Boston, 2023.6.17
- 2) Haga N: Functioning and assistive technology for people with disabilities in Japan. International Symposium on Rehabilitation Research 2023, 2023.9.22, Seoul
- 3) 小林毅: 我が国のサリドマイド胎芽症者のいま－研究で見えてきたことと当事者たちの困りごと－(教育講演). 第 60 回日本リハビリテーション医学会学術集会、2023.7.2、福岡
- 4) 藤原清香、真野浩志、梅崎成子、西坂智佳、小林美香、芳賀信彦、緒方徹: 遠方在住の先天性上肢形成不全児の当院における義手診療の特徴. 第 60 回日本リハビリテーション医学会学術集会、2023.6.29-7.2、福岡
- 5) 木村麻美、矢野綾子、芳賀信彦: 装飾用義手の手先具に能動フックを用いピアノ演奏が可能になった先天性左前腕形成不全児の 1 例. 第 39 回日本義肢装具学会学術大会、2023.10.28-29、岡山
- 6) 矢野綾子、中川雅樹、田中靖紘、中村康二、中村隆、大熊雄祐、芳賀信彦: 先天性片側上肢形成不全(フォコモリア)児に対する義手のリハビリテーションの経験. 第 39 回日本義肢装具学会学術大会、2023.10.28-29、岡山
- 7) 小林毅、藤谷順子、前原康宏、藤原清香、芳賀信彦: 我が国のサリドマイド胎芽症者の痛みが日常生活に及ぼす影響. 第 57 回日本作業療法学会、2023.11.10-12、沖縄
- 8) 曾根英恵、大友健、片岡真紀、中野友貴、岡本悠、日ノ下文彦、田辺晶代、加藤温: サリドマイド胎芽症者の精神的健康に影響する要因の検討. 第 36 回日本総合病院精神医学会(ポスター発表) 2023.11.17、宮城